

(様式2)

授業科目 臨床神経学

科目コード番号

【担当教員名】 今村 徹	対 象 学 年	2	対 象 学 科	言語
	開 講 時 期	後期	必修・選択	必修
	単 位 数	2	時 間 数	30

【概要】

本科目は前期に開講する神経系の機能・構造・病態を引き継ぐ科目であり、前期で学んだ臨床神経学の考え方をもとに神経疾患の学習を進める。臨床現場では、神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに、患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である。後者の学習のために、症候学や診察検査法と疾患各論をできるだけ関連させて授業を進める。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	(神経系の機能・構造・病態と同じ)			
参考書				
その他 (プリント等)	適宜配布する			

【評価方法】

定期試験の成績で評価する

【履修上の留意点】

授業は理学療法学科の臨床神経学（後期）、作業療法学科の神経内科学Ⅱと合同である。

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

代表的な神経疾患について、神経科学の知識に基く論理的な病態理解と、臨床像の症候群的理解の両者を身に付ける。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

(行動目標は授業ごとに具体的に提示する。)

授業計画

教室

回数	授業内容	SBO 番号	担当 教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	臨床神経学の考えかた：病因病態理解と症候群的理解		今村	講義	
2, 3	運動麻痺と筋力低下、錐体路症候、筋萎縮、感覚障害 / 運動ニューロン疾患、末梢神経疾患、筋疾患		今村	講義	
4	自律神経症状、対麻痺 / 神経因性膀胱、脊髓脊椎疾患		今村	講義	
5, 6	パーキンソン症候群と他の錐体外路症状、運動失調 / パーキンソン病と他の錐体外路疾患、脊髓小脳変性症		今村	講義	
7	(補講)				
8	認知機能障害 / 痴呆性疾患		今村	講義	
9	意識障害と注意障害・せん妄		今村	講義	
10, 11	脳血管障害 脳神経症状		今村	講義	
12	頭部外傷と外傷性脳血管障害、脳腫瘍		今村	講義	
13	(補講)				
14	神経系の感染症、脱髄性疾患、機能的疾患		今村	講義	

その他